市民の皆さまへ

～ご協力ありがとうございました～

特別定額給付金の給付が

10,373 世帯 (98.1%) 完了しました！

5月13日から申請受付を始めた特別定額給付金は、市民の皆さまのご協力により、6月3日現在で10,373世帯の給付が完了しました。受付が始まった当初は申請が殺到し、給付までに数日間かかることもありご迷惑をおかけしました。その後は、事務手続きもスムーズになり、大きなトラブルもなく、一連の作業を進めることができました。

車いすで特設会場までおいでいただいた方、推進本部からの電話で再度確認書類を届けていただいた方など、毎日多くの市民の皆さまにご協力いただきました。改めて感謝申し上げます。

特別定額給付金は、すべての国民が10万円の給付を受けることができる制度です。このため仙北市では、国の示した様式にあった給付金不要のチェック欄を設けませんでした。5月中に、市民全員に給付金をお届けすることを一番の目標にしたからです。

まだ202世帯の方が申請されていません。目標達成まであと少しです。申請期限は、8月13日までですが、心当たりの方はぜひお早めに申請くださいますようお願いいたします。

申請がまだの方は…

▶▶▶ 申請は原則郵送ですが、市役所窓口でも受付しています。

申請手続きは、原則郵送でお願いしていますが、郵送することが困難な方は、市役所各地域センター、各出張所で受付しています。

▶▶▶ 申請でお困りの方は福祉事務所までご相談ください。

高齢で独り暮らしの方や障がいがある方など、給付金の申請でお困りの方は、福祉事務所でお手伝いします。遠慮なくご相談ください。

福祉事務所の相談窓口（いずれの電話でもご相談に応じます）

① 43-2288 ② 43-2284 ③ 43-2280 ④ 43-2281 ⑤ 43-2283

▶▶▶ 申請期限は、8月13日(木)までです。

申請期限までまだ期間はありますが、お早めに申請を！

【特別定額給付金に関する問合せ】

仙北市特別定額給付金推進本部（仙北市総務課内） ☎ 43-1111

事業継続支援金の申請受付を 6月30日(火)まで延長します

申請にあたっての相談は… 商工課 ☎ 43-3351・仙北市商工会角館本所 ☎ 54-2304

市内の事業者（卸売業・小売業・飲食業・サービス業・宿泊業・製造業など）を支援する「事業継続支援金」は、6月1日現在で217件の申請がありました。まだ申請されていない事業者が多いと予想されるため、申請受付期間を、6月30日(火)まで延長することにしました。対象となる事業者の皆さまはぜひ申請くださるようお願いします。

- ▶▶▶ **対象事業者**／次のすべてに該当する事業者。▶①市内に本社または主たる事業所を有する事業者で、原則令和元年4月30日以前から事業を開始していること。▶②「秋田県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」の支給対象外の事業者であること。▶③令和2年3月から同年5月の期間中のいずれかの月において、前年同月比において主たる事業での売上が20%以上減少していること。▶④令和2年3月1日から5月31日間の営業日に、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした自主的の休日が累計で10日間以上実施していること。※10日間以上休業することができなかった事業者については、個別にご相談ください。
- ▶▶▶ **給付額は1事業者あたり20万円で、飲食業と宿泊業にはさらに10万円を加算します。**

5月25日 緊急事態宣言全国で解除

新型コロナウイルスとともに生きる「新しい日常」がスタートしました

仙北市では… ▶▶▶ 5月31日(日)まで休館・休止していた次の公共施設がオープンします。

田沢湖クニマス未来館

思い出の潟分校

森と遺跡の展示室

角館伝統的建造物群保存地区管理事務所

旧石黒（恵）家

武家屋敷（市管理施設：岩橋家、河原田家、小田野家、松本家）

小野崎家

角館町平福記念美術館

新潮社記念文学館

むらっこ物産館（6月6日開館）

田沢湖キャンプ場（6月1日受付開始・6月6日開場）

縄文の森交流広場（施設改修のため当分の間休業します）

自然ふれあい温泉館（アルパこまくさ）

都市農村交流施設（ハートハーブ）

かたまえ山森林公園等（6月1日受付開始・6月6日開園）

※施設ごとに感染防止対策を実施しています。入館にあたっては、各施設の対策にご協力をお願いします。

- ▶▶▶ **小学校、中学校は夏休み中の7日間を臨時登校日とします。**

市内の小学校、中学校では、新学期に入って、4月22日から5月6日まで臨時休校措置が取られていましたが、教育委員会では、児童生徒の学びを保障するため、夏休み期間を短縮し、7日間の登校日を設けることにしました。登校日は、次のとおりです。※通常どおり給食対応します。

【夏休み】《前半》7月27日(月)、28日(火)、29日(水)、30日(木) 《後半》8月19日(水)、20日(木)、21日(金)

- ▶▶▶ **妊婦の皆さまにマスクを配布します。**

仙北市に寄付のあった使い捨てマスク（50枚1パック）を妊婦の皆さまに配布します。希望される方は、母子健康手帳を持参のうえ保健課（☎55-1112）へお越しください。

【配布期間】6月30日(火)まで

【配布時間】平日9:00～17:00

▶▶▶ 基本的な感染対策の実施

感染の再流行を未然に防ぐため、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」のほか「新しい生活様式」など引き続き感染防止対策に取り組みましょう。

▶▶▶ 「密閉」「密集」「密接」の3密を避けましょう

▶▶▶ 県外との往来の自粛

県外との往来の自粛は、5月31日で終了していますが、北海道、埼玉県、千葉県、東京都および神奈川県との往来は、6月18日まで真にやむを得ない場合を除き、避けましょう。

▶▶▶ 外出自粛やイベント・行事開催の段階的緩和

観光は、6月18日までは県内観光にとどめ、19日からは県をまたぐ観光も感染状況に注意しながら行っても差し支えありません。その際は、人と人との間隔を確保しましょう。

また、イベント・行事などについても、感染対策を講じたうえで次のとおり段階的に開催するようお願いいたします。

時期		移行期間			移行期間後
		【ステップ1】 6月1日(月) ～18日(休)	【ステップ2】 6月19日(金) ～7月9日(休)	【ステップ3】 7月10日(金) ～31日(金)	感染状況を見つつ、 8月1日(土)を目途
外出自粛	県をまたぐ移動	△ 北海道、埼玉県、千葉県、東京都および神奈川県との往来は、真にやむを得ない場合を除き避ける。	○	○	○
	県をまたぐ観光	× 観光振興は県内で。	△ 県をまたぐ観光振興は徐々に。	△ 県をまたぐ観光振興は徐々に。	○
イベントなど	コンサートなど	○ 屋内100人または50%、屋外200人。	○ 屋内、屋外1,000人または50%。	○ 屋内、屋外5,000人または50%。	○ 屋内50%。
	展示会など	○ 屋内100人、屋外200人または50%。	○ 屋内、屋外1,000人または50%。	○ 屋内、屋外5,000人または50%。	○ 屋内50%。
	プロスポーツなど(全国的移動を伴うもの)	×	○ 無観客(ネット中継など)	○ 屋内、屋外5,000人または50%。	○ 屋内50%。
お祭りなど	全国的・広域的	×	×	×	△ 十分な間隔(できれば2m)
	地域の行事	△ 屋内100人または50%、屋外200人。	○	○	○

※屋内は人数上限と収容人数の50%のどちらか小さい方を限度。屋外にあつては十分な間隔(できれば2m)を確保。

第2次の経済支援対策に取り組みます

緊急事態宣言が解除され、段階的に行動の制限も解除されつつありますが、それに合わせて、経済活動を少しずつ動かしていくことが必要になっています。

仙北市では第2次の経済支援対策を取りまとめ、6月4日に開会した定例議会に、関係予算の提案をしています。議会最終日の追加の補正予算も検討しており、議会のご理解を得ながら、効果のある支援策、そして有効な対策を速やかに実施することにしています。

現在、提案および検討している事項は次のとおりです。

▶▶▶ 子育て世帯応援事業

国の助成事業として、児童手当受給世帯に対し子ども1人あたり1万円の臨時特別給付金が支給されます。これにあわせて、仙北市では独自に、令和2年4月1日時点で18歳未満（高校3年生以下）の子どもがいる子育て世帯に対し、対象となる子ども1人あたり給付金2万円を支給します。

※所得制限はありません

▶▶▶ 新規事業継続チャレンジ支援事業

市内事業者が新型コロナウイルス感染症への対応として、事業継続するため新規事業の展開や事業形態の転換など、新たに必要となる経費を支援します（補助率2分の1以内、上限額10万円）。

- ①施設などの消毒や清掃衛生備品などの調達に要する経費。
- ②売上向上や消費喚起に向けた事業実施に要する経費。
- ③販路拡大、生産性向上、事業継続の取り組みなどに要する経費。
- ④3密を回避するための取り組みに要する経費。

▶▶▶ 物産オンライン販売促進事業

市内の土産品、特産品、伝統工芸品などをオンラインで販売し、観光客や仙北市出身者にネット販売により物産を届けるなど、市内事業者の販売促進を支援します。

▶▶▶ 農泊推進地域元気づくり事業

教育旅行などが軒並み延期になったことから、農家民宿への誘客促進のため、秋田県内を中心に、小中学校の教育旅行の誘致活動に取り組みます。

▶▶▶ 公共料金の減免

- ①4月分、5月分の上水道の基本料金を減免します（7月以降の使用料金で調整する予定です）。
- ②4月分、5月分の温泉供給料金を減免します（ホテル、旅館などの営業施設が対象です）。
- ③市内の小中学校、中学校の4月から夏休み前までの給食費を減免します（夏休み中の7日間の登校日分を含みます。9月以降の給食費で調整します）。
- ④角館樺細工伝承館、角館町平福記念美術館、新潮社記念文学館、田沢湖クニマス未来館、思い出の潟分校の公共施設について、6月27日以降から令和3年3月まで、市内外を問わず入館料を無料とします。

▶▶▶ 田沢湖・角館観光協会支援事業

駐車場使用収入の減少などにより今後の事業実施に支障が出ている観光協会に対し支援を行います。

▶▶▶ 災害救援費

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク、消毒液、防護服、フィルムなどの購入により、市内施設や市役所窓口、小中学校、放課後児童クラブなどの安全対策に万全の備えをします。

このほかにも内容を検討している事業があります。

【プレミアム宿泊券事業】

県で発行しているプレミアム宿泊券を利用して市内のホテル・旅館・民宿に泊まった場合、仙北市独自のインセンティブをつけ、誘客促進を図ります。

【タクシー事業支援事業】

観光客の減少などにより大きなダメージを受けているタクシー事業者に対して、県事業と協調して支援を行います。

【プレミアム付商品券発行事業】

仙北市独自にプレミアム付商品券を発行し、市内商店、飲食店などの利用促進と市民の消費喚起を図り、市経済の活性化を目指します。

【新型コロナウイルス関係全体の問合せ】